

ノビタキ（ヒタキ化） 全長 13 センチ

秋の渡りの季節に入り、大仙市でも目につくようになったノビタキ。クリっとした目が可愛いことから、バードウォッチャーの人気者になっている。

9月下旬、田んぼは大型コンバインの収穫作業が進み、あっという間に刈り取られてしまった。わずかに残る黄金色の田んぼも、あと数日でしょうか。

ちょうどこの季節に観察されるのがノビタキです。畦道などに生える背の高い草の上で休んでいることが多く、見晴らしの良いところを好むようだ。春と秋の渡りで観察されますが、同じ場所に数日間とどまり、一度見つけると何日間も付き合うことができます。



メスはクリっとした目が可愛い。

メスがアメリカセンダングサの上でじっとしたまま動きません。何かを狙っているようだ。突然姿勢を低くして、目の前を横切るトンボに飛びかかった。残念ながら失敗です。

近くにいた雄が挑戦。アキアカネでしょうか、しっかりとクチバシに挟みこんで戻ってきた。敏捷に飛び回るトンボでも、捕らえることができる身のこなし。得意げに見せびらかしているように見えた。



オスは頭部が黒っぽい。



アメリカセンダングサで遠くを眺める。

畑では、野菜についているアオムシなどをよく捕まえています。

オスは目の周囲が黒っぽく、メスは明るい茶色です。メスのまん丸い目がチャームポイントでしょうか。



狙いを定めて(メス)



見事に捕らえた (オス)